

## 特殊浴槽機器（仰臥位入浴）一式の導入に関する職員アンケート集計（1回目）

福寿荘（従来型） アンケート対象者 介護職員21名、回答者20名

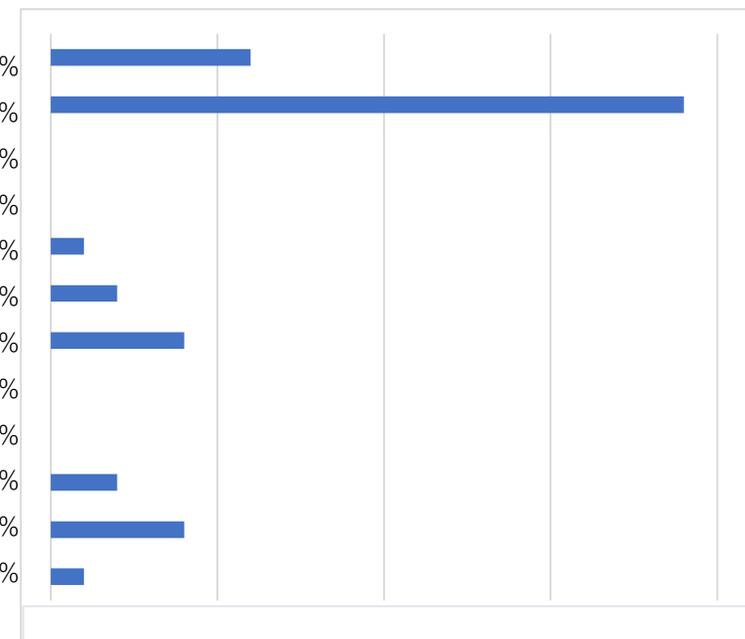
1 入浴の介助業務に関して、負担を感じていましたか 回答数

1, 毎回負担に感じていた。	6	30%
2, 時々負担に感じていた	13	65%
3, 負担を感じていなかった。	1	5%
4, 全く感じていなかった	0	0%
	20	



2 入浴介助で負担に感じていた介助は何ですか 回答数（複数回答）

1, 利用者が多い	6	15%
2, 対応職員が足りない	19	49%
3, お湯の温まるまでに時間がかかる	0	0%
4, 特浴浴槽の操作が煩雑・操作しにくい	0	0%
5, 安全性に不安がある。	1	3%
6, 正常に使用できない場合が頻繁にある。	2	5%
7, 職員の導線が悪い、介助がしにくい	4	10%
8, ストレッチャーと本体とのドッキング	0	0%
9, ストレッチャー安全柵の操作性	0	0%
10, お湯の温度のムラがある	2	5%
11, 入浴に時間がかかる	4	10%
12, その他（	1	3%
	39	



3 導入後に負担は解消されましたか

- 1, 解消された。
- 2, 一部解消された。
- 3, 解消されなかった。

回答数

0	0%
17	85%
3	15%
20	

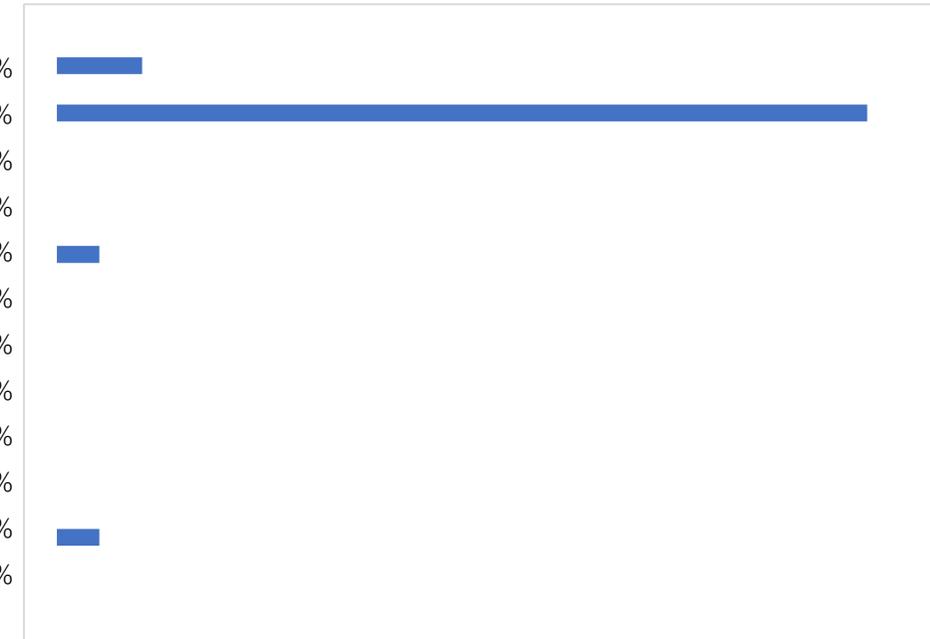


4 負担は改善した、されなかった事は何ですか

- 1, 利用者が多い
- 2, 対応職員が足りない
- 3, お湯の温まるまで時間がかかる
- 4, 特浴浴槽の操作が煩雑・操作しにくい
- 5, 安全性に不安がある。
- 6, 正常に使用できない場合が頻繁にある。
- 7, 職員の導線が悪い、介助がしにくい
- 8, ストレッチャーと本体とのドッキング
- 9, ストレッチャー安全柵の操作性
- 10, お湯の温度にムラがある
- 11, 入浴に時間がかかる
- 12, その他（

回答数 (複数回答)

2	9%
19	83%
0	0%
0	0%
1	4%
0	0%
0	0%
0	0%
0	0%
0	0%
1	4%
0	0%
23	

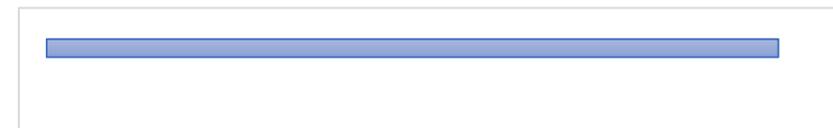


5 機器を導入して良かったと思いますか

- 1, 導入して良かった
- 2, 導入して良くなかった。

回答数

19	100%
0	0%
19	



6 機器を導入して業務効率は変化しましたか

1, 効率が上がった

2, やや効率が上がった

3, 変わらない

5, 効率が下がった。

回答数

9 47%

7 37%

3 16%

0 0%

19



9 特浴利用者の状況に変化はありましたか

1, 特浴を嫌う人が少なくなった。

2, あまり変わらない

3, 特浴を嫌う人が多くなった。

4, その他

回答数

1 5%

18 95%

0 0%

0 0%

19



7 全問1, 2の場合、効率が上がったところは何ですか

特浴機 2 台で入浴することができ、たくさんの利用者が短時間で入浴すること医ができる。

2 台運用による効率アップ。

特浴利用者が増えてきた所で、2 台で運用でき効率が良くなっている。

職員がまとまって入浴介助ができるようになった。

職員どうしが近くて介助できるため、助け合える環境になった。

特浴機が 2 台になって効率が上がった。

特浴 2 台体制により特浴利用者の入浴がよりスムーズになった。(特浴利用者を待たせない)

特浴機 2 台体制になったことで利用者をまとめることができ見守りがしやすくなった。

1 台では時間内に終わるよう慌ててしまうことが多かったが、2 台体制でゆとりが持てるようになった。

2 台体制で入浴することができ入浴待ち時間の利用者が入浴できるようになり効率よく利用できるようになった。

特浴機が 2 台になり並行して入浴でき、職員の距離も近く介助の効率が上がった。

8 全問3, 4の場合、効率が変わらない又は下がったところは何ですか

処置に係る時間は変わらない。処置を行う人は今まで通り時間がかかる。

職員の人数が変わらないので効率があまり変わらない。

特浴機が 2 台あっても職員の人数が足りず中介助の人が介助も手伝ったりするので負担が大きい。

特浴機利用が増える中、2 台体制は安全に入浴介助するのに助かっている。

職員の人出が少ない為、2 台あっても手が回らない。早出のSSが来てから対応できる。

特浴機 2 台体制に伴い対応職員の人員確保がより安全に介助できるため必要と考える。

洗う場所が十分に確保できていない。